

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	緊急通報装置設置事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	保健福祉部	課等名	介護高齢課			1	3	1	4	14	9	10,660
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり				包含する細々目							
施策	35 高齢者福祉の推進											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画 条列等	高齢者保健福祉計画					
		事業期間	1	年度～	年度							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	一人暮らし高齢者 要支援又は要介護者がいる高齢者世帯	一人暮らし高齢者数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度 以前に終了 は終了 年度とする	
			2940			
	高齢者世帯	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
		3666				
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
通報により緊急時の対応が図られるようにする。	緊急通報装置設置件数 / 独居高齢者数	18目標	11	最終目標	12	
		18実績	11	19目標	12	↑
		23目標	12	23実績		最終目標 達成年度
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標		↑
		23目標		23実績		最終目標 達成年度

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	一人暮らし高齢者等の安全、安心を確保するための機器を貸与、給付する事により、在宅生活の継続を図る。具体的には、緊急通報装置については、本体とペンダント型スイッチを設置。急病や災害等の緊急時にボタンを押すと、受信センターが受信し、あらかじめ指定した近隣の協力が員が駆けつけて対応する。対象者は、一人暮らし高齢者、高齢者世帯でいずれかひとりが必要支援又は要介護である世帯。	近隣者の助けを得ながら、在宅生活を続けられる協力体制をつくっていく。	新規設置 取り外し 19年3月末 設置台数	33台 47台 324台
	18年度の実績			
	19年度計画	近隣者の助けを得ながら、在宅生活を続けられる協力体制をつくっていく。	設置台数	380台

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	1,267	1,494
	一般財源	8,058	9,166
事業費計(A)	9,325	10,660	
人件費	正規職員所要時間	18年度 130	19年度 130
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	465	465
	トータルコストA+B	9,790	11,125

特定財源内訳 や補足事項	
-----------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	安心していきいき暮らせる	安心して暮らせる高齢者の割合	現状値	59.6	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	60
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標		

この事業を開始したきっかけ 在宅福祉事業として、国の要綱に基づいて実施。	事業を取り巻く状況の変化 在宅支援、地域での支え合いを推進することから、ますます需要が高まっている。 高齢者用住宅には必須の設備となっている。	事業に対する市民や議会の意見 議員より使いやすくなったとの意見をもらった(緊急通報装置)
---	---	---

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) <input type="checkbox"/> 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) <input type="checkbox"/> 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) <input type="checkbox"/> 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) <input type="checkbox"/> 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) <input type="checkbox"/> 必要ある (その理由)		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) <input type="checkbox"/> 不可能 (その理由)
	対象者が高齢者ということで、低収入であり、地域支え合いの推進ということも考えると関与は必要。	効率性 評価	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) <input type="checkbox"/> 妥当である (その理由)
		公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) <input type="checkbox"/> 妥当である (受益者とその理由)

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 実施年度 <input type="text"/> 具体化	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	<input type="checkbox"/> 必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由	
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？			

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	